16 作業用消耗品支給要求の件 提案第三支部

理由

吾等は同内に於て最小等の労力条件のもに拘束せられ従って
その生活水準は極度に低められ、実に人間生活のドン底を彷徨せる
の実情であるにかゝはらず、最近当局は赤字に転じて吾々に一切
の犠牲負担を強要して来たのであります。
保線係現場詰めの如きは、何等衛生設備もなくバラック建の透
間だらけの詰所にスチーム設置もなく厳冬期をろく枕な
きに堪えられず、薪炭の供給の如きは二円五十銭の基金を募りストー
ブを買入れて居るこゝろぐるしき、何故保線の兄弟のみが斯る惨めな
待遇をされなければならないか当局連絡の足痛には石
炭を二人に二ヶ月一個だとか、鉱業は近頃誰でもシャープペンシルを



持てるからとかなくて千良ことが野帳を広くく呉れないとか
斯くの如く一切の消耗品を吾々の薪給のはかを負担せられ
るため、吾々の給料は日々減らされる人金額は二千を過ぎて最高
廿円に及ばんとしてある。員会一主
斯くては薪給の吾々は全く保障はありません。依て一切の会社
に取りとばした消耗品と復活支給を要求するのであります。
文献 同 休憩 案
作業用消耗品に関する件 提案第三支部
実行方法は中央委員会に一任
理由 履物支給要求の件 提案第三支部
吾々は屋外労働に依る履物破損の甚大なる事は申す迄もな